



2015年9月13日(日) 会場：谷中の家(東京都台東区谷中3-17-11)

昼の部14:00～／夜の部17:00～／交流カフェ19:30～

福島県いわき市では、東日本大震災で460名の方が亡くなりました。福島第1原発周辺町村よりは相対的に放射線量が低く、原発事故による避難者約2万4000人を受け入れている一方、市外へ避難したままの市民は約4000人。『いわきノート』は、それぞれの事情を抱えながらいわきに暮らす人びとを、筑波大学の学生方たちが取材して本音をきき、市内の情景と共にまとめたドキュメンタリーです。当日は共同監督を務めた学生11人の中から2人をゲストに迎え、お話をうかがいます。

●映画『いわきノート』

筑波大学の学生らが福島の人々の声を世界に届けようと、震災から2年半後のいわき市を訪れ、丹念に取材を重ねた。登場するのは市井の人びと—農業や漁業に携わる人、子育て中の母親たち、教師と高校生、僧侶やサーファー、そして今なお仮設住宅で生活する人たち。1人ひとりの物語を言葉と映像で紡ぎ出す。(製作 筑波大学創造的復興プロジェクト/2014年/日本/86分)

★ゲスト：有馬俊さん(『いわきノート』共同監督、現在、慶応大学大学院1年)・太智花美味さん(同、筑波大学4年)

【昼の部】13:30 開場 14:00～16:00 [参加費700円・定員30名]

『いわきノート』上映+ゲスト・トーク(有馬俊さんのみ)

【夜の部】16:30 開場 17:00～19:15 [参加費700円・定員30名]

『いわきノート』上映+ゲスト・トーク

【交流カフェ】19:30～20:30 [参加費500円(軽食+ワンドリンク付)・定員20名(昼/夜の部参加者優先)]

各回、予約を
お願いします
(裏面参照)

『いわきノート』へのコメント

ヤノベケンジ 現代美術家

凜とした佇まいをもつ映画だ。心の内を躊躇なく広げて語る福島の方々の言葉に心動かされるだけでなく、その裏に映画作りに挑んだ大学生の戸惑いや苦悩も同時に想像できるからだ。観るものの背筋を伸ばさせる存在。必見。

青山 悟 アーティスト

この映画が伝えているのは“情報”ではなく、福島に暮らす人達と、彼らに関わる大学生達の“思い”だ。その飾らない思いの数々が観る者の心を通り直ぐに揺さぶる。プロパガンダ的表現とは一線を画した、純粋なドキュメンタリー。こんな作品にはなかなか出会えない。

ヴィヴィアン佐藤 美術家・ドラッグクイーン

多くの人々は錯覚してしまうけれど、映像体験ってそこに「描かれているもの」について語ることじゃなくって、「映像そのもの」にあるのよ。これは震災後のいわきの現状やそこに住みつづける人々の苦難の報告の物語ではないわ。いわき取材することで見えてくる学生たちの成長の物語と読めるわね。それがいわきの人々に元気を与えているのよね。

【会場】谷中の家（台東区谷中3-17-11）

メトロ千代田線千駄木駅・JR日暮里駅・JR西日暮里駅下車徒歩7分。よみせ通り、延命地蔵を東へ入る、2筋目を南へ入って東側2軒目。

【予約方法】 以下いずれかの方法で予約してください。

1. 申込みフォーム

【昼の部】<http://kokucheese.com/event/index/325932/>

【夜の部】<http://kokucheese.com/event/index/325933/>

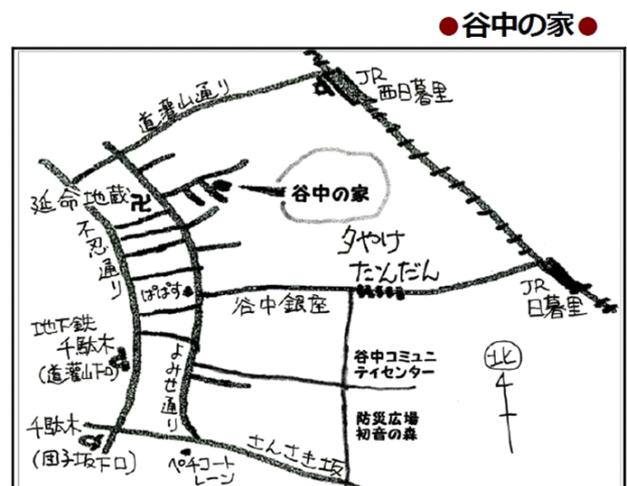
【交流カフェ】<http://kokucheese.com/event/index/325934/>

2. メール eigasai@jtgt.info（アドレスが変わりました）

*件名を「月1原発映画祭申込み」として参加者氏名（複数お申し込みの場合は全員のお名前をお書きください）、参加内容（昼の部・夜の部・交流カフェ）を明記してください。

3. 電話 090-1265-0097(植松)

または090-9492-0075(西川)



* キャンセルされる場合は必ず事前にご連絡ください

◆ 月1原発映画祭について ◆

原発に関連した映画・映像を上映し、併せて交流カフェを開催、映画の監督や制作者などのゲストを迎えてお話を聞いたり、意見交換・情報交換をしたり、日ごろの思いや疑問を語り合ったりする交流の場を提供しています。原発に関することを知りたい、考えたい、話したいという方、「賛成」「反対」「やむを得ない」・・・いろいろな考えの方が気軽に参加できる会をめざしています。

開催案内 「地域から未来をつくる・ひがし広場 (<http://www.jtgt.info/>)」のサイトで随時掲載しています。

これまでの内容 開催レポートやゲスト・トークの動画をご覧いただけます。上記トップページのメニュー「月1原発映画祭」のページの右側にある「これまでの映画祭／交流カフェ」をご参照ください。

【動画がアップされているゲスト・トーク】

2014.6.7 松村直登（「原発20キロ圏内に生きる男」出演）・藍原寛子（ジャーナリスト）対談

2014.7.5 イアン・トーマス・アッシュ（A2-B-C監督）トーク

2014.8.2 第28回 ブラディーブ・インドゥルカー（ハイ・パワー監督）トーク

2014.10.4 小倉志郎（元原発技術者）トーク

2015.1.10 白石草（OurPlanet-TV主宰）トーク

2015.3.7 石本恵美（原発附和雷同監督）+長井公一・みさ子（福島県須賀川市在住）トーク

主催 月1原発映画の会

（地域から未来をつくる・ひがし広場 <http://www.jtgt.info/> 内）